

日本海ガス絆HDグループの事業報告

ガス事業 Gas energy

「快適で豊かな暮らしの創造と地球にやさしい環境づくりに貢献する総合エネルギーグループを目指す」というグループ経営理念のもと、クリーンで環境特性に優れた天然ガス・LPガスの普及拡大に努めるとともに「ガスのある快適な暮らし」、を皆さまにお届けすることに日々精進しています。

お客さま戸数
(都市ガス+LPガス)

101,067 戸

2024年度末

都市ガス販売量

129,206 千³m

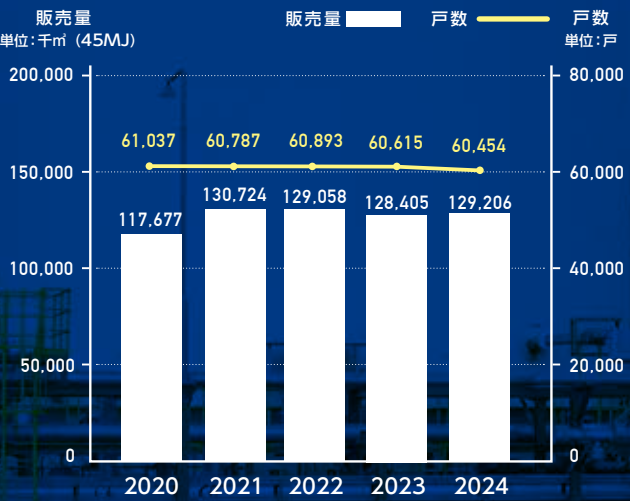
2024年度

LPガス販売量

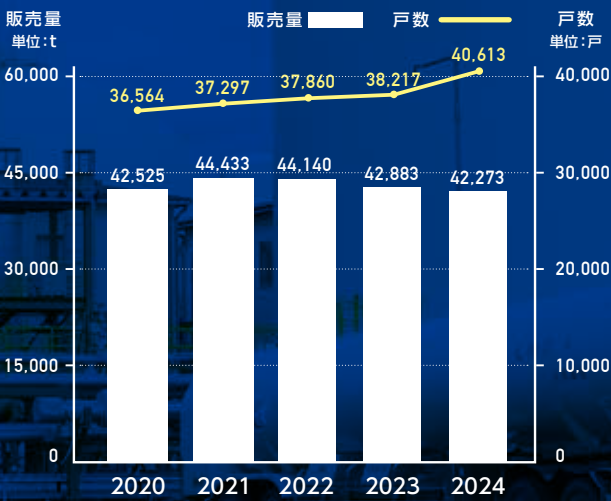
42,273 t

2024年度

都市ガス 販売量とお客さま戸数



LPガス 販売量とお客さま戸数



※当連結会計年度において、重要性の観点から前連結会計年度まで非連結子会社であった(株)北雄ホームサービスを連結の範囲に含めています。

都市ガス 供給エリア

本支管延長

単位: km

導管総延長

2020年	1,489.2
2021年	1,493.5
2022年	1,498.7
2023年	1,502.1
2024年	1,506.1

LPガス 供給エリア

主要高速道路

地域の産業と生活基盤を支える 分散型エネルギーシステムの普及

ガスはお客さまの暮らす地域の産業、そして生活を支える重要なエネルギーインフラの1つです。昨今頻発している自然災害に備え、エネルギーのベストミックスを推進することで、リスク分散を図ることができます。コージェネレーションシステムは、都市ガスやLPガスで電気と熱を同時に供給するシステムです。発電した電気と排熱の両方を無駄なく利用することにより、省エネルギー、CO₂削減に大きく寄与します。また、停電時でも起動できるブラックアウト対応仕様の機種も登場しています。

GHPはガスエンジンとヒートポンプによって冷暖房を行う空調システムです。ガスエンジン排熱を有効利用した省エネ、電力ピークカットを達成します。教育現場への導入も進み、快適な学習環境の提供を通じて、高度な教育の提供にも貢献しています。当社グループではお客さまのニーズにマッチしたコージェネレーションシステム、ガス空調システムを提案し、レジリエンスと低・脱炭素の両立を推進しています。

社会福祉法人恩賜財団済生会 富山県済生会富山病院 様

災害拠点病院としての機能維持とレジリエンス強化に貢献

停電対応型・中型コージェネレーションシステムは最大450kWの出力で、病院で使用する電力の約6割をカバーします。ガスコージェネレーションシステムと備蓄倉庫を整備されたことによって、災害時の医療救護活動を支援する「災害拠点病院」に指定されました。既築病院へのコージェネレーションシステムの導入は全国的にも珍しく、富山県内にある災害拠点病院の中で初めてガスコージェネレーションシステムをご採用いただいたモデルケースになりました。



稼働開始日 2024年7月

設備概要

- 停電対応型：CGS450kW×1台
- 給湯・空調・発電

富山市民プール 様

平時の省エネと災害発生時の避難所として地域防災に大きく貢献

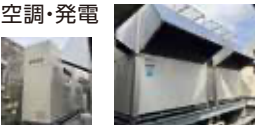
環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を活用し、停電対応型ガスコージェネレーションをご採用いただきました。平時から稼働させ、廃熱と発電を利用することにより、省エネとCO₂削減に寄与します。強靱性の高い中圧ガス導管にて供給し、災害時でもガスコージェネレーションシステムから電源を供給することによって、地域の防災拠点としての機能維持に貢献します。



稼働開始日 2024年3月

設備概要

- 停電対応型：CGS35kW×2台
- GHPチラー：25HP×8台
- 給湯・空調・発電



社会福祉法人富山市桜谷福祉会 白光苑 様

入居者の生活環境の向上と災害時の地域貢献を実現

平時の福祉環境を向上するだけでなく、停電時はバッテリー電源によりエンジンを起動させ、発電機が稼働することで、室外機や室内機だけでなく、照明や携帯の充電等に必要な電力を確保します。富山市と災害時における連携協定を締結しており、災害時は要配慮者を受け入れ、福祉避難所として地域に貢献されます。施設付近に河川があるため、1mの架台の上に室外機を設置し、洪水対策を講じられました。



稼働開始日 2024年12月

設備概要

- 停電対応型：GHP20HP×2台
- 給湯・空調・発電



コージェネレーションシステム普及状況 都市ガス

設置先需要家	能力：kW	稼働開始
社会福祉法人相幸福祉会 とよた保育園	10kW	2016年 7月
富山市立豊田公民館	5kW	2017年10月
大塚製薬工場	900kW	2020年 2月
パレプラン高志会館	5kW	2021年 2月
中央薬品	5kW	2021年 4月
アパホテルステイ富山	25kW	2021年12月
特定医療法人財団五省会 みどり苑	35kW	2021年12月
医療法人社団功達会 南富山中川病院	70kW	2022年 1月
社会福祉法人小杉福祉会 太閤の杜	5kW	2022年12月
医療法人社団若葉会 高重記念クリニック	5kW	2022年12月
アパホテル富山駅前	25kW	2023年 2月
アパホテル富山駅前南	5kW	2023年 2月
社会福祉法人萌黄福祉会 ひらきこども園	5kW	2023年 9月
社会福祉法人富山城南区 敬寿苑	35kW	2023年12月
社会福祉法人恩賜財団済生会 富山県済生会富山病院	450kW	2024年 3月
富山市民プール	70kW	2024年 3月
医療法人社団藤聖会 富山西総合病院	35kW	2024年 5月
医療法人社団喜生会 サンセリテ 木戸クリニック	25kW	2024年12月
金剛化学	35kW	2024年12月

停電対応型ガスヒートポンプエアコン普及状況 都市ガス

設置先需要家	能力：HP	稼働開始
社会福祉法人相幸福祉会 とよた保育園	20HP	2016年 7月
廣貴堂 呉羽工場	20HP	2021年 7月
医療法人社団若葉会 高重記念クリニック	40HP	2022年12月
富山市公設地方卸売市場	20HP	2023年 3月
社会福祉法人萌黄福祉会 ひらきこども園	80HP	2023年 9月
医療法人社団親和会 ラ・サンテ富山西	60HP	2023年 9月
タカノグループ本社研修センター	20HP	2023年12月
富木医療器 富山支店	100HP	2024年 2月
社会福祉法人恩賜財団済生会 済生会富山病院 健康管理センター	100HP	2024年 7月
社会福祉法人富山市桜谷福祉会 白光苑	40HP	2024年12月

災害時に強いエネルギー

災害時においてLPガスは供給回復が非常に早いエネルギーです。国はエネルギー基本計画の中で、災害時エネルギー供給の『最後の砦』として位置づけています。

今回採用していただいた災害用バルクは、ガスメーターやガス漏れ警報器が一体化され、業務用コンロや炊飯器、給湯器、暖房機、発電機などを組み合わせることによって、災害時にエネルギー供給が途絶した場合でも、備蓄したLPガスを使いライフライン機能を維持することができます。また地域防災活動として、防災訓練など地域活動にも貢献しています。現在は国からの補助金もあり、設備負担の軽減を図ることができます。

イオンモール白山 様

大型ショッピングモールを地域の防災拠点に

北陸エリア最大級の店舗が集結するイオンモール白山様にLPガス災害対応型バルクと停電時でも稼働できるガス空調（冷房・暖房運転）ならびに非常用発電機を導入しました。災害時には避難者、帰宅困難者、従業員の1,100人を収容する大規模な避難拠点として、空調及び炊き出し、電源の確保等に使用し、避難所としての機能を果たします。また当施設は白山市との「地域貢献連携協定」を締結され、地域の防災拠点として、さらには復興の拠点としての役割を担っています。

稼働開始日 2021年7月

設備概要

- GHP室外機×16台 総馬力数400HP
- 非常用ガス発電機×1台 発電量54kW
- 小型ガス発電機×3台 定格出力1.5kVA
- 投光機：バルーン投光機×3台
- LPガス災害対応型バルク 2.9t×3基、298kg×1基



APAホテル金沢西 様

プライバシーが確保された避難所施設として

北陸自動車道金沢西インターチェンジに近く、ビジネスや観光、合宿などに利便の良いホテルに、LPガス災害対応型バルクとGHPならびに非常用発電機を導入しました。非常用発電機でGHPの電源を確保して空調を稼働します。当ホテルは「かなざわ災害時等協力事業所」に登録され、災害時には客室の一部を開放して避難所施設として協力されます。ホテルという特性を生かし、個別にスペースを必要とする避難者へ提供することができ、プライバシーを確保した拠点としての役割を果たすことができます。



稼働開始日 2022年11月

設備概要

- GHPチラー室外機×5台 総馬力数125HP
- 非常用ガス発電機×1台 発電54kW
- LPガス災害対応型バルク980kg×2基

特定医療法人扇翔会 南ヶ丘病院 様

地域の医療防災拠点としての役割を果たすため

南ヶ丘病院様は災害発生時には入院患者と勤務する医療従事者の滞在の他、建物内の病室や待合室・廊下など共用スペースを可能な限り開放し、入院患者以外に他の避難所からの診察・治療が必要な近隣住民等を収容する一時避難所としての役割を担っています。商用電力が止まった際には非常用発電機によりガス空調や強制気化装置の電力を確保し、空調を稼働させ避難者の健康維持等に役立てることができます。また、バルクの付属設備であるガス栓ユニットに小型ガス発電機やガス機器を接続し、敷地内で投光機の使用や炊き出しを行うことも可能で、避難所としての機能をより一層高めています。



稼働開始日 2021年6月

設備概要

- GHP室外機×9台 総馬力数185HP
- 非常用ガス発電機×1台 発電量54kW
- 小型ガス発電機×1台 定格出力900VA
- 投光機：バルーン投光機×1台
- LPガス災害対応型バルク 2.9t×1基

快適で豊かなくらしの実現に向けて

エネファーム

電気とお湯を同時につくるエネルギーシステム

エネファームはガスから取り出した水素と空気中の酸素との化学反応で発電します。エネファームでつくられた電気は、家電、照明などに使用可能で、さらに電気をつくる際に生じた排熱で浴室やキッチン、洗面所のお湯をつくり、床暖房などの温水暖房にも利用できます。自宅で必要なエネルギーを効率良く作ることができ、快適な生活をしながら、地球環境に貢献できます。

また、災害等でライフラインが停止（停電、断水、ガス停止）した際に、電気・お湯が使える、貯湯タンクの水は生活用水として利用することができます。もしもの時にも安心な機能が搭載されています。

エネファームは、全国累計販売台数50万台を達成し、当社累計販売台数も1,500台を突破。記念すべき1,500台目のお客さまにショールームPregoにご来場頂き、記念セレモニーを行いました。

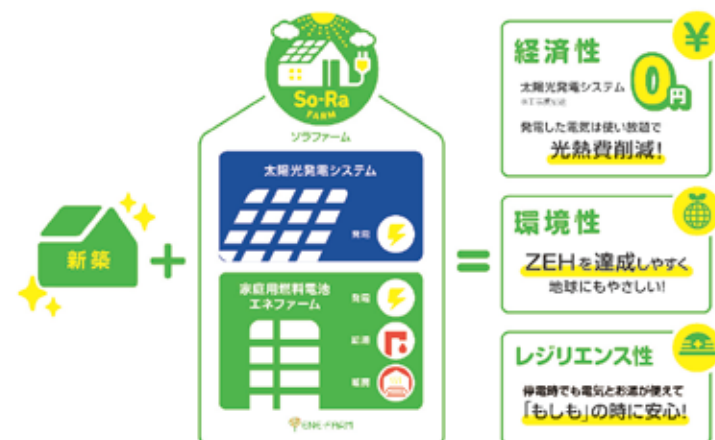


機器販売台数

機 種		単位:台				
		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
エネファーム	TG	54	56	53	51	49
	LP	101	83	104	97	101
	計	155	139	157	148	150

So-Raファーム

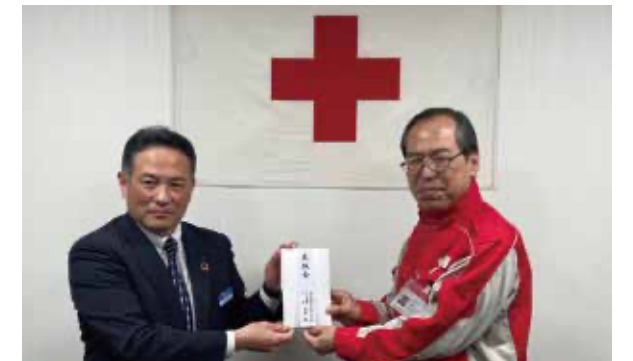
家庭用燃料電池「エネファーム」をご採用のお客さまを対象に、太陽光発電システム本体の費用負担が0円となるサービス『So-Raファーム』の提供を継続しています。本サービスの提供を通じ、ZEHの普及拡大に貢献し、同時に災害時にも「自宅が避難所」となるレジリエンス住宅の普及を訴求し、地域の皆さまとともにSDGs達成に向け貢献していきます。



春のガス展2024

春のガス展2024では、令和6年能登半島地震を受け、地域の皆さまに安全と安心をお届けすべく、レジリエンス性の高いガス機器のご案内に加え、防災グッズのご紹介を行いました。お客さまの防災への意識が高まっており、たくさんのお客さまにご来場いただきました。

地域復興の力になればと想いを込め、ご来場いただいたご招待券1枚につき100円を災害義援金として寄付いたしました。



ガス展2024

2024年のガス展は「いつものくらしに安心を」をテーマに実施しました。レジリエンスの備えとなり得るガス機器を紹介する特設コーナーを設置し、若年層向け防災ワークショップを開催するなど、地域に根差したガス会社としてのご提案や活動を展開しました。

ガス展の各会場には「エガオー神社」を設置。ご来場のお客さまにお持ちいただいたご招待券をコインに替えてお参りいただくことで、合計1万人を超えるお客さまとともに復興祈願を行い、1組10円換算として災害義援金として寄付をしました。

また、グループ各社との連携も行い、TOSUMOライフスタイル提供による全国名店から取り寄せた「パンフェス」や、TOSUMO建築設計とのコラボによる「TOSUMO大感謝祭」など、イベントに合わせ毎週機器展示レイアウトを変更し、お客さまをお迎えしました。



見えない価値 安定供給

当社グループは、ライフライン事業に携わる企業集団として、「安心・安全・快適な生活環境づくり」に積極的に取り組んでいます。また、都市生活のための安定したガスエネルギーの供給に応えられるよう、「高度な技術力」により地域の快適な暮らしの創造に貢献できる企業を目指しています。

工場の保安体制

万一の火災発生に備え自衛消防組織を編成し、定期的に初期消火活動の訓練を行い防災に努めています。自衛消防隊消防操法大会では毎年好成績を収めています。また、電力会社から供給される商用電源が停電となった場合でも、都市ガス製造に支障が生じないよう、全停電を想定した訓練を行っています。

操法大会
小型ポンプの部



災害への備え

地震計 (Siセンサー)

供給区域内に合計19台の地震計を設置しています。地震発生時には各地点のデータを自動収集し、被害状況の早期把握が可能です。



移動式ガス発生設備

導管による都市ガス供給を停止した場合でも、公共性の高い施設にガスを供給できるよう移動式ガス発生設備5基を備えています。



経年管取替の推進

供給区域内のガス導管は耐震性、耐食性に優れたポリエチレン管への取替を順次進めており、2024年12月末の導管耐震化進捗率は98.6%となっています。敷設年度や管の材質などにより優先度を決め、最も優先度の高い経年管(ねずみ鋳鉄管)の取替は、2015年12月末に完了しています。



緊急時の対応

本社、西部支社、金沢支社ではガス漏れなど万一の緊急事態の発生に備え、24時間体制での通報受付・緊急出動が可能な体制を取っています。



LPガス集中監視システム

LPガス貯蔵所やお客さま宅には遠隔監視システムを設置し、ガス漏れ・ガス圧力異常などの緊急情報を24時間体制で監視しています。

防災訓練の実施

毎年社内での防災訓練を実施しています。2024年は、元日に発生した令和6年能登半島地震と同規模の地震が発生したという想定で日本海ガス絆HDグループ社員を対象に訓練を実施しました。今回の訓練では、能登半島地震発生時の対応で見つかった課題について、各対策班で改善策を講じ、それを検証することと平日の勤務時間内で災害が発生した場合の対応を検証しました。今後も防災への意識を高く持ち、災害対応力の強化を図っていきます。



「働きやすい職場認証制度」取得

テルサウェイズ本社・岩瀬営業所・高岡営業所において、国土交通省が認定する「働きやすい職場認証制度」の一つ星認証を2023年に取得しました。この制度は、事業者の職場環境改善に向けた取り組みを「見える化」することで、ドライバーへの就職を促進し、運送事業者の人材確保の後押しを目的に創設されました。①法令の遵守等②労働時間・休日③心身の健康④安心・安定⑤多様な人材確保・育成の5分野を点数化し、一定基準をクリアした事業所に認証が与えられる制度です。ドライバーにとって、より働きやすい労働環境を整備していきます。



環境にやさしい取り組みをしている 運輸事業者を認証する「グリーン経営認証」取得

テルサウェイズは、深刻化する地球温暖化を防止するため、輸送サービスの提供という事業活動を通じて、人と環境にやさしく豊かな社会づくりに貢献することを基本理念とし、交通エコロジー・モビリティ財団が認証する、「グリーン経営認証」を2010年に取得し、エコドライブ活動や低公害車の導入、自動車の確実な点検整備の実施により、環境に悪影響をあたえないよう活動して来ましたが、今後もこの環境保全への取り組みを継続して実行し、さらなる向上を目指していきます。





SUPPORT SOCIETY インフラ整備事業

私たちは、空気・水・エネルギー等、地球から与えられた資源を技術と知恵でコントロールし、人にとって必要で快適な空間・環境を追求してきました。より快適な空間を創造すること、そして地球環境を守ること、この2つを両輪として前進していくための新たな未来への道を拓き続けています。

2024年度末	
冷水機設置台数	能力
1,723台	196,400 RT
GHP・EHP設置台数	能力
8,180台	105,318 RT

空調機器販売事業

当社グループは空調機器等のメーカー各社の代理店として、吸収冷温水機、GHP・EHPなどの空調機器、ボイラ等を販売しています。私たちはこれらの機器と併せてメンテナンスなど技術的なサービスをご提供することを基本姿勢として販売を展開。営業スタッフはメンテナンスサービスを生かし、ユーザーのご要望を的確に把握して最適な設備機器をご提案しています。また現場で掴んだニーズをメーカーへフィードバックするなど、メーカー各社とも緊密な連携を独自に育んでいます。

また度重なる震災以来、地震に強い非常用発電設備として評価が高まるガスタービン発電機や、飛躍的な省エネルギーを実現するシステムとして注目を集めるコージェネレーションなど、私たちはこれまでの実績を踏まえて、さらに新しい技術や知識を充実させ、先進のシステムの提供に取り組んでいきます。



建築設備事業

建築設備には「空調換気設備」「給排水衛生設備」「電気設備」などがあります。どれもが重要な設備であり、すべてが一定のレベルで整っていないと生活も仕事も満足にはできません。当社グループはこれら建築設備の設計・施工管理を通じて、あらゆる屋内環境の“快適”を創り支えています。ニーズが高度化・多様化するオフィス環境づくりに、先進のシステムが求められる産業空調に、さまざまな角度から設備と工事のクオリティを追求し、北陸を中心にユーザーの期待と信頼にお応えしています。

また、さまざまな建築設備のリニューアル工事にも対応しており、設備全体の現状の診断を実施し、省エネ・省CO₂・BCP対策を念頭においた最適な提案および施工を行っています。

環境問題への配慮は、建築設備においても今後の取り組みが不可欠なテーマであり、省エネルギーやCO₂削減を追求した空調設備、水資源を有効に生かす給排水設備、自然環境を汚さない排水処理など、当社グループは建築設備の領域から、地球環境と共生する快適性の実現へ向け、その一翼を担っていきます。

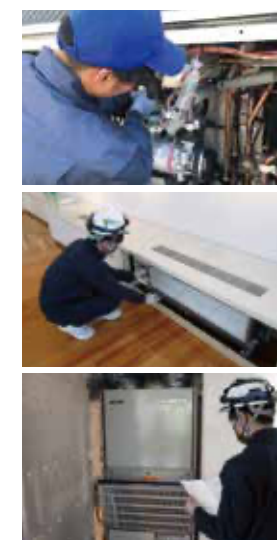


メンテナンス事業

建物設備のメンテナンスは、快適な室内環境を保つための要です。当社グループは人材育成プログラムに基づいた若手社員のスキルアップを実践しつつ、各メーカーとの長年の連携を通して蓄積した技術を生かし、迅速かつ細やかなメンテナンスサービスを提供しています。

お客さまからのご要望には24時間・365日体制で対応。また電話回線を利用した遠隔監視システムの導入を進め、設備機器の稼働状況を常時監視することを可能にし、安全・安心な運転と管理を低コストで実現しています。

また水回り等の衛生機器、電気設備など、建物の各種設備が日々正常に稼働し続けることも空間を快適に保つ基本であり、私たちは豊富な実績と技術に裏打ちされた建物設備のエキスパートとして、法定点検・年次点検をはじめ、予防保全提案に至るまで幅広いニーズに対しても迅速かつ丁寧にお応えしています。



都市開発事業(水道事業・ガス工事関連)

当社グループは都市ガスおよびLPガス設備の施工管理において数多くの実績を誇っています。確かな技術と豊富な経験をもつ技術者たちを擁して、安全かつ安定したガス供給を支え、工場などさまざまな施設に応じたガス設備の施工を実現してきました。また、上下水道工事においても富山市の指定業者としての技術力を発揮し、配水管工事を始め、消雪工事や工場内の各種配管など活躍の領域を広げつつ、都市基盤整備の一翼を担っています。



情報・通信設備事業

高速大容量の光通信によるケーブルテレビやインターネット網のほか、河川や発電所の監視制御、構内LANによる病院内大規模医療情報システム、住宅内情報システム(テレビ電話・インターネットなど)の工事を行っています。

情報を正確に、確実に流通させるべく、安定した通信設備の提供に取り組んでいます。



機械・計装設備事業

お客様の工場にて機械の運転制御を担う電気回路の配線を行っています。配備される機械と共に国内外の現地の工場で設置・組立・配線の対応をすることもあります。また、自動車関連工作機械・半導体関連装置・水洗機等の制御盤配線結線も行っています。

効率的に稼働する信号を送り、品質と生産力を上げるお手伝いをしています。



土木・建設工事の設計・施工事業

都市ガス、LPガスを供給するための設備の設計・施工、富山市発注の水道工事、民間より受注する一般工事等の管工事業を行っています。工業用、産業用、業務用の新規お客さまへの導管延伸や家庭用お客さま宅への引き込み工事に加え、導管網の整備に係る計画導管工事や経年管対策として地震に強いポリエチレン管への入替工事、導管の修繕対応も担っています。

また、東京ガス管内における日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社より受注している神奈川県応援施工も行っています。



舗装工事業

ガス導管工事に付帯する本舗装復旧工事を行っています。

アスファルト舗装は、水はけも良く滑りにくいという特徴もあり、多くの舗装工事で利用されていますが、正しい施工を行わなければ耐久年数が短くなってしまいます。混ぜた時の温度や混ぜり具合、ローラーでの転圧がしっかりできているかなど、品質管理を行い施工しています。





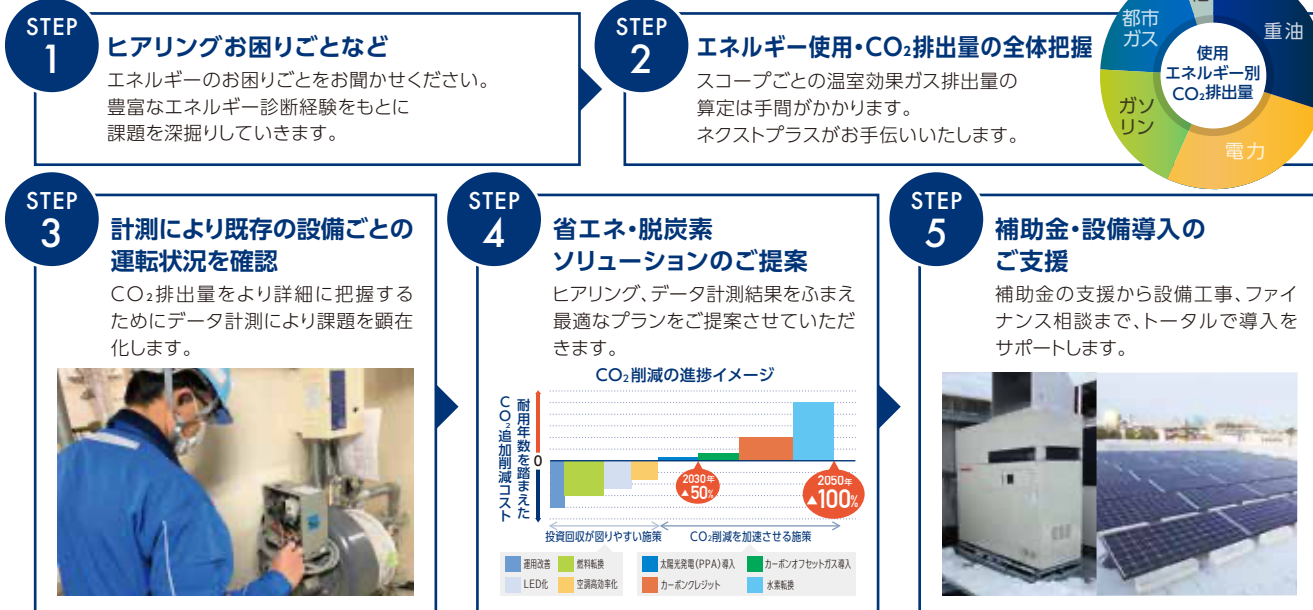
TOTAL ENERGY 総合エネルギー事業

2020年10月に政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。また、2021年4月には2030年度に温室効果ガスを2013年度比46%削減を目指すことを表明しています。これらの宣言や決定を受けて、大手企業を中心に従来の省エネルギーシステムや設備導入に加えて、再生エネルギー調達によるCO₂排出削減を図る脱炭素経営の取り組みが広がりを見せています。

脱炭素コンサルタント事業、設備構築およびエネルギーサービス事業

これまでに培ってきた計測技術や、省エネルギー診断により、お客さまのエネルギー使用状況を正しく把握し、課題を顕在化します。レジリエンス性向上などのご要望を踏まえ、ハード・ソフトの両面からアプローチしたソリューションをご提案。多様で煩雑な補助金申請支援から設備工事、エネルギーサービス*等のファイナンス相談まで、トータルで導入をサポートします。

※エネルギーサービス：お客さまとサービス契約を締結し、月額料金でのシステム導入、メンテナンスを含む一貫した課題解決策を提供する事業



エネルギーマネジメント事業

当社グループはエネマネ事業者として、お客さまの省エネ・省コストへのご要望に対し、総合的な視点でサービスを提供するサポート役としてお応えしています。

エネルギー管理士が店舗や事業所、工場などにおけるエネルギー使用実態を分析し、最適運用を自動化するエネルギー・マネジメント・システム(EMS)の導入やエネルギーの一元管理支援サービスの提供を行う他、各種補助金支援事業の申請に必要な事務作業についてもサポートしています。

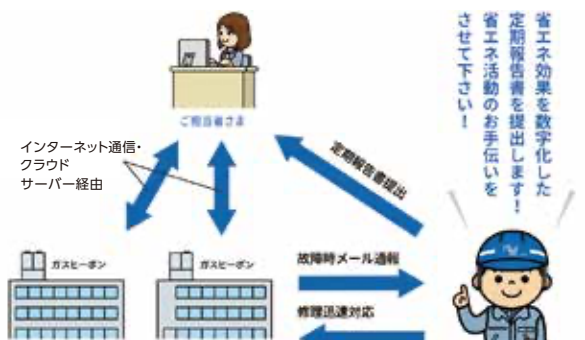
EMSエネルギーマネジメントシステム

省エネの基本は、【見える化】です。見える化によって得られた情報を分析することが省エネ推進活動の第一歩となります。現場での機器メンテナンス情報とEMSの見える化で得られた運転データを分析し最適な改善策をお客さまへご提案します。



GHP用エネルギーマネジメントシステム

GHPをムダ無く効率的に運用管理し、自動で省エネ・省コスト・省CO₂を実現。さらに電力デマンド制御によるピークカットの実現も可能になりました。



ハイブリット型 ヒートポンプエアコン スマートマルチ

スマートマルチは、GHPとEHPを組み合わせたハイブリッド空調機。季節や時間帯に応じてガスと電気を最適なバランスで運転するとともに、省エネ・省コスト・省CO₂の運転モードから選択が可能です。



ハイブリッド型冷温水空調

ガス・油・電気のそれぞれの良いところをミックスし、お客さまのコスト最小化を実現します。最適化運転のパターンをメンテナンスすることで、将来の価格変動にも柔軟に対応しコストの最小化をキープできます。空調負荷の少ない中間期は、空冷式チラーのみの運転でリモコンでの冷暖切替が可能です。また低温時でも吸収冷温水機は外気温度に左右されず高暖房をキープできます。ハイブリッド空調は吸収冷温水機と空冷チラーの並列設置熱源となり、全館空調が停止することなく年間通して安心・快適に過ごすことができます。



※もっとsaveはDaigasエナジー(株)、東京ガス(株)の登録商標です。



TOTAL LIFE SUPPORT トータルライフ事業



保険事業

損害保険・生命保険契約を取り扱う保険代理店業務を行っています。個人のお客さま向けには自動車保険、火災保険、生命保険を中心にお客さま毎に最適なご提案を行うことにより、生活に密着した安心の提供を目指しています。また、法人様向けには業務遂行に伴い発生が考えられるリスクをヘッジするための賠償責任保険、工事保険等を中心にご契約をいただいています。

リース事業

事業運営に不可欠なパソコン、複合機などの一般的な機器に加え、各業種に特有な事業用機器に至るまで幅広い物件をリースしています。リースの利用により、設備投資にまつ資金負担が発生せず費用の平準化が図れます。また自動車リースにおいてはメンテナンス付きリースをご提供することにより、自動車に関連する各管理業務をお任せいただき、お客さまの省力化に寄与しています。

不動産事業

富山市内にアパート2棟、分譲マンション内の居住用物件5室、他に貸店舗及び事業用貸土地をそれぞれ1物件ずつ保有し、賃貸しています。アパート2棟では各部屋に充実したガス機器を揃え、居住者の方に快適なガスライフを提供しています。



飲食店事業・食品販売事業

TOSUMOライフスタイルは、飲食店事業と食品販売事業を中心に「食」をテーマとしたサービスを展開しています。

飲食店事業では、富山県内の「星乃珈琲店 富山天正寺店・高岡熊野店」、石川県の「神戸クック・ワールドビュッフェ 野々市店」の3店舗を運営し、地域の皆さまに「くつろぎの時間」と「美味しい食事」をお届けしています。

食品販売事業では、定期的にパンやエスニック料理のミールキットをお届けする「サブスクリプションサービス」により、忙しい方々に便利で美味しい生活を提案しています。

今後は「食」を中心としながら、新たなライフスタイルの提案にも取り組んでいきます



新築事業

2023年にオープンした2棟のモデルハウスを利用し、超高性能デザイン住宅「jigsaw」や注文住宅の販売を展開しています。2024年には、より富山のお客さまに提案しやすいよう「jigsaw」のTOSUMO仕様を開発しました。12月には高岡市戸出に3棟目のモデルハウスが完成。「TOSUMOの家づくり」として、富山全域のお客さまへ新しい住まいと暮らしを提案しています。



リフォーム・リノベーション事業

水廻りを中心としたリフォームから、屋根・外壁のリフォーム・メンテナンス、間取りを変えるリノベーションまで幅広くお客さまの暮らしを提案します。設備等の取り替えだけではなく内窓取り付け、省エネ提案、断熱リフォーム等性能向上リフォーム・リノベーションの提案によって、お客さまに快適で豊かな暮らしを提案します。



2024年 TOSUMO建築設計 実績件数

新規新築契約数 7件

新築完成棟数 9件

リフォーム完工数 537件

お客さま満足 (CS) 向上への取り組み

当社グループでは、お客さまの暮らし全般を支えるプロ集団として、快適でエコな暮らしの提案やお客さまのライフスタイルに合った幅広いサービスの提供に加え、当社グループの強みである「地域に密着した保安・サービス」を強化します。



「見極め」

ガス事業における保安調査や開栓、メーター取替といった作業について、確実な保安の確保と安定供給のため必要な資格の取得とは別に、各作業の「見極め」を行っています。実際にお客さま宅での作業に携わる前に、日頃訓練した成果を一連の作業として行い、保安やCSなど複数のチェックポイントで審査し、当該業務への従事資格の可否を判断するものです。統一された適正な作業の実施を通して、お客さまへ安全と安心をお届けしています。



安全パトロール

TOSUMO建築設計では、お客さまの住まいと現場の安全を守るために、また、労働災害や事故を未然に防ぐため、施工現場が安全基準書通り丁寧な現場管理がなされているかを安全パトロールにて定期的に確認します。安全パトロール後に確認した結果を社員だけでなく、協力会社さまにも周知・注意喚起をし、丁寧に綺麗な現場施工を心がけています。



修理資格制度

様々な資格の取得を推進する一方で、会社独自の機器修理資格制度を設け運用しています。レベルに応じ1級から3級までの段階を設定し、各機器の作動フローや各部品の役割・機能、安全装置の仕組みの理解から、これに基づく故障診断、部品交換といった修理対応について、段階的に検定試験を行っています。本制度により、お客さまからのさまざまなご依頼に誠実・迅速にお応えできるよう努めるとともに、これまで長きにわたり培ってきた重要な技術を維持し伝承していきます。



ライフタイムマネジメント

ガス事業法等に基づく定期保安点検業務の期限管理に加え、商談などのご訪問以降に、担当者が手書きでお客さまに感謝の気持ちをお伝えする「サンキューレター」の郵送や、1ヵ月後あるいは1年後の「フォロー巡回」を行うなど、お客さまとの接点機会を増やすことでよりよい関係づくりに努めています。また、お客さまのライフサイクルに応じたお困りごとやご要望、ニーズなどの情報を収集・分析しています。最適なタイミングでお客さまとの接点機会を創出し、快適な暮らしのご提案とより良いサービスの提供を行い、お客さまとのより密接な信頼関係を築いていきます。

保安勉強会

繁忙期を迎える前に、開閉栓作業、ガスメーター取替作業、ガス漏れ検査についての手順のポイントについて再確認を行いました。作業の増加や慣れによるミスを防ぐため、過去の事故事例を基に、ミスのポイントや防止策について話し合いました。

開栓作業はお客さまとのファーストコンタクトであることから、安全安心にガスを使用いただけるよう基本に忠実な作業を再確認しました。



新たな領域への挑戦

CHALLENGE TO NEW FIELDS



CVC(コーポレートベンチャーキャピタル)

日本海ラボは、新たな事業領域の探索やスタートアップとの共創機会獲得及び共創推進を目的に、CVC活動を展開しています。2023年の活動開始から、スタートアップやベンチャーキャピタルが運営するファンドに対して累計8件の投資を行いました。

当社グループのCVCとして、エネルギー事業で培った基盤を活かし、オープンイノベーション推進による新たな事業の創出と北陸地域の共創プラットフォームの構築を目指します。

01
Booster
Capital

Anyplace



SiRC

株式会社北陸電設の株式取得

当社グループでは2030年の目指すべき姿を示した「NEXT Vision」にて「総合エネルギーグループへの進化」を目標として掲げています。その中で、従来のガスを中心とした事業展開から事業領域を拡大させ、総合エネルギーグループとして様々なソリューションを一括で提供するため、2024年5月に北陸電設の全株式を取得しました。北陸電設は、1959年の創業以降、長年にわたり電気設備工事や光通信工事、機械計装工事の設計、施工を手がけ、地域社会に必要不可欠なエネルギー供給と情報通信に関する設備の工事に携わってきました。また、技術力の向上を積極的に進め、社員の技術教育や資格取得にも力を入れています。日本海ガス絆HDは、北陸電設が持つ高い工事技術や教育体制などのノウハウとグループ会社とのシナジー効果を高め、経営理念に掲げている「総合エネルギーグループ」としてこれからもお客さまの快適で豊かなくらしの創造に貢献していきます。



NGAS-Accelerator Program 2024

NGAS-Accelerator Programは、当社グループと株式会社ゼロワンブースターが共同で運営する事業創造プログラムです。北陸地域への新しい価値提供を目指し、スタートアップとの共創を進めています。

多くのご応募の中から採択された5社のスタートアップに対し、8月から約4カ月にわたり当社グループの社員が伴走しました。

12月の成果報告会では、採択企業5社が当社グループの社員とともに、IoT見守りサービス、波力発電、バイオテクノロジーなどのテーマで展開した共創活動の成果を発表しました。



新たな領域への挑戦

CHALLENGE TO NEW FIELDS

グループ全体で、世の中の環境変化に柔軟に対応していくため、デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みによる業務効率化と標準化を加速しています。



柔軟な働き方への対応

Microsoft 365の活用を拡大しています。メールや紙を中心としたコミュニケーションから、TeamsやSharePointを活用することで、リアルタイムでの情報共有やドキュメント管理が可能になり、迅速なコミュニケーションを支援しています。また、場所やPC・スマートフォン等のデバイスを問わず業務ができるため、リモートワークとハイブリッドワークを強力に支援することにより、ワークライフバランスや従業員満足度の向上にも繋がっています。



Excel・紙の業務からノーコードツールによる業務システムの構築

Excelで管理していた商談や日報、紙による定型作業の指示等の業務を、プログラミングの知識がなくても業務アプリが開発できるノーコードツールを活用し、業務をデジタル化しています。AI OCR^{※1}やRPA^{※2}も活用することで、ペーパーレス化と業務の自動化の推進だけでなく、特定の人に依存していた業務の削減にも繋がっています。更に、取引先との契約・発注等の事務手続きをデジタル化し、協力業者の業務負担が軽減、様々な場面で活用が進んでいます。



※1 [Artificial Intelligence Optical Character Recognition/Reader]の略で、画像データから文字情報を抽出し、コンピュータが利用可能なテキストデータに変換する技術にAIを組み合わせた技術

※2 [Robotic Process Automation]の略で、人間が繰り返し行う定型作業の業務プロセスを自動化する技術、またはソフトウェアのこと

デジタルを活用したお客さま接点の向上

お客さま接点を増やしていくため、LINE公式アカウントを開設しました。従来、ガス利用にかかる手続きは、電話やWebでしたが、LINEからの申し込みを追加し、手続きを簡素化しました。ブロックチェーン^{※3}を活用した電子取引も可能です。今後もデジタルチャネルを強化し、お客さまのニーズに即した質の高いサービスの提供を進めていきます。

※3 改ざんできない環境で電子データを保管する技術・仕組み



AI・ビッグデータの活用

情報検索の効率化のため、社内標準ツールとして生成AIを活用しています。生成AIを活用することで情報検索が大幅に効率化されるだけでなく、業務の生産性と品質の向上にも繋がっています。また、地域を支えるインフラ企業であり続けるために、AI・ビッグデータの活用の有効性を検証しています。例えば、気温や天候などの気象データと過去の実績データを活用した需要予測により、ガス供給の最適化が可能となり、CO₂排出量削減にも繋がります。

